

今月の最優秀作品

漢字条幅

白根 大矢 蓮奈 蓮筆の速度や墨量の変化が自然で、湯筆も丁度良い。集中して書き上げた手腕はお見事。落款も本文に調和している。

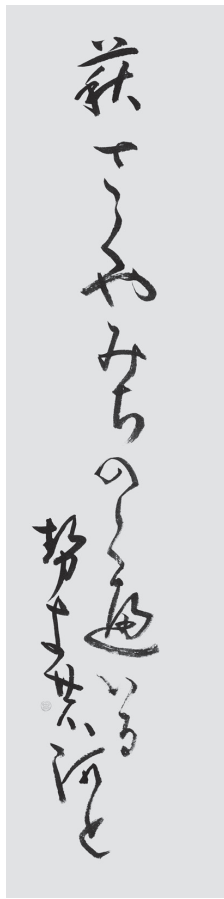
(選評) 中村 紫泉



かな条幅

湘花 阿部里衣紗 解説をよく理解し、丁寧な運筆で、高校生らしい真面目で瑞々しい作品に好感が持てる。落款に一考を。

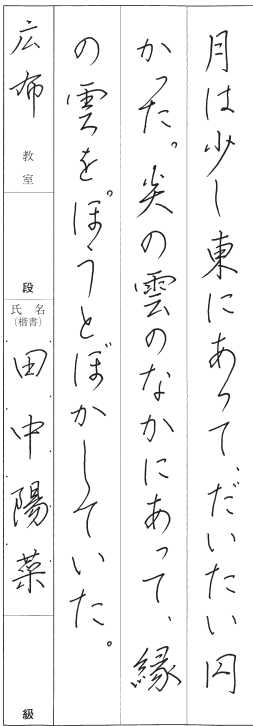
(選評) 山田 智舟



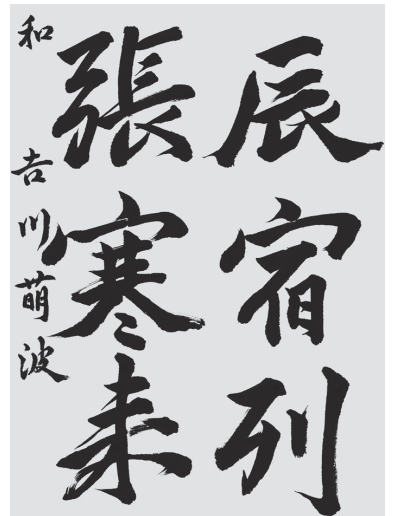
ペン

広布 田中 陽菜 間の取り方が良い。連綿していなくても次字へのつながりが伝わり読み易い。書線と結体も申し分なく秀逸である。

(選評) 小島 鳳治



漢字半紙

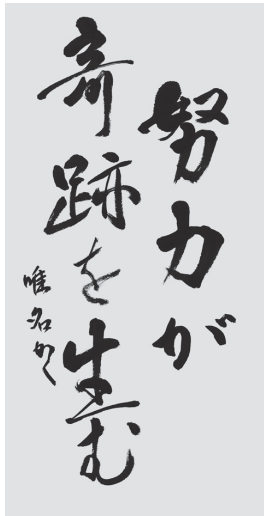


和 吉川 萌波

手本を見る力が高く、原帖の筆遣いまで細かく観察して書き上げた。柔らかな運筆と引き締った線の対比も美しい。

(選評) 井上 螢湖

新和様

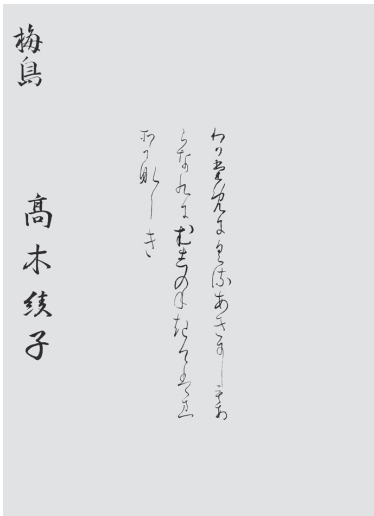


長太 山中 唯名

お手本をよく観察し、墨の潤濁、線の太細、文字の大小を変化させて見応えあり。落款の下に押印があると尚良い。

(選評) 平川 恵翔

かな半紙



梅島 高木 綾子

手本をよく観察し、線の太細、潤濁を丁寧かつ伸びやかに臨書ができた。教室名、氏名は作品と調和させたい。

(選評) 八尋 光華



◇ 今月の優秀作品 ◇

辰宿列
張寒来
大野 仁小

辰宿列
張寒来
夕 中西 緑

辰宿列
張寒来
井上 佐藤陽茶

辰宿列
張寒来
井上 刘屋 仁杏

辰宿列
張寒来
うみ 坂本麗来

辰宿列
張寒来
後前 津比文 心安田 真衣

辰宿列
張寒来
頭職 小山 実 荻 愛

辰宿列
張寒来
桶川 山崎 咲音

辰宿列
張寒来
津比文 三善 なな花

辰宿列
張寒来
松林 島崎 乃枝

辰宿列
張寒来
書芸 大堀 莉奈

辰宿列
張寒来
厚木 岩崎 裕菜

辰宿列
張寒来
津比文 渡邊 沙南

辰宿列
張寒来
白鳥 山手 ゆき

辰宿列
張寒来
天恵 唐津 日歌

辰宿列
張寒来
神へ 野々宮 帆花

辰宿列
張寒来
中山 文乃

辰宿列
張寒来
神六 山川 於

辰宿列
張寒来
可考 田中 彩鈴

辰宿列
張寒来
秀芳 田中 光

辰宿列
張寒来
八心 梅原 蒼莉

辰宿列
張寒来
とち七段 中村 應我

辰宿列
張寒来
王 大森 美空

辰宿列
張寒来
新木 横山 蒼汰郎

辰宿列
張寒来
梨霞 保科 陽紀

<p>張寒来 辰宿列</p> <p>五 多田晴琉</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>五 野愛菜</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>下村琳音</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>若林 六青木結奈</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>七段 四元紗英</p>
<p>張寒来 辰宿列</p> <p>望水 吉井柚稀</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>青空五 有松陽花</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>青二 山本芽生</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>純李六 山内百合里</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>市川 大谷勇斗</p>
<p>張寒来 辰宿列</p> <p>英花 桑江彩乃</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>サ 高橋優芽</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>風 田部井ゆきの</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>小秋 江原慶花</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>悠 石川陽落</p>
<p>張寒来 辰宿列</p> <p>山口 大野莉奈</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>松平 鈴木志野</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>吉井 鈴木彩心</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>葵園 田果奈</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>秋山 金谷芽依</p>
<p>張寒来 辰宿列</p> <p>香月 大原芽生子</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>大川結愛</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>与田彩乃</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>瑞江 山田真步</p>	<p>張寒来 辰宿列</p> <p>し 先崎優杏</p>

今月の優秀作品

OK
鶴澤りお
転起
結承

李
東桃叶
転起
結承

金井結理
転起
結承

二波 廣田 優星
転起
結承

桂書
磐山其愛
転起
結承

桶川 應本 旗太
転起
結承

用賀 前川 優大
転起
結承

千葉 今井 美慶
転起
結承

和み 島田 斗真
転起
結承

六 池谷 優孝
転起
結承

星和 高橋 隼子
転起
結承

阪田 夕稀
転起
結承

吉祥 深田 紗帆
転起
結承

松浅 西村 佳菜
転起
結承

片岡 大和
転起
結承

神澤 明佳
転起
結承

大井 佐藤 元士
転起
結承

平泉 岩 潤 未来
転起
結承

白根 庭山 凜果
転起
結承

香坂 藤井 乃々華
転起
結承

田中 ちひろ
転起
結承

天佑 渡邊 由佳里
転起
結承

松寿 佐藤 碧
転起
結承

70 田 美咲
転起
結承

川園 福本 志芽
転起
結承

今月の優秀作品

清苑
田仲優菜
道武士

山田
宮元雪羽
起承
転結

五香
佐木真理子
起承
転結

三花
府川心香
起承
転結

有斐
笠原里桜
起承
転結

西山紅葉
道武士

八木薫
道武士

野田
横地潤
起承
転結

徳永美瑠
起承
転結

蘇心二
大田里文香
起承
転結

伊藤舞夏
道武士

石坂詩乃
道武士

郁野
金井実香
起承
転結

群伊
西澤なのは
起承
転結

磯田結菜乃
起承
転結

玲水
横山航太
道武士

定水
塚井奏志
道武士

向初
陳佳怡
起承
転結

伊文部
大嶋さくら
起承
転結

小平三
前澤敬子
起承
転結

要海
保科柚月
道武士

万里
浦山涼
道武士

CY初
段藤廣希乃香
起承
転結

文敬
北川梨華
起承
転結

上毛三
山本菜歩
起承
転結

今月の優秀作品

<p>大部 二 田村愛苗</p> <p>女のむし るすかてんがを うごまけり</p>	<p>白鳥 三 塚本寧々</p> <p>女のむし るすかてんがを うごまけり</p>	<p>白根 四 丸山瑞之亮</p> <p>女のむし るすかてんがを うごまけり</p>	<p>和建啓久 五 川 可波</p> <p>わがをんをよむあそびさあ うごまけりむしのひたつとも うごまけりさ</p>
<p>和影 初 藤岡真子</p> <p>女のむし るすかてんがを うごまけり</p>	<p>勝原 三 山片葵</p> <p>女のむし るすかてんがを うごまけり</p>	<p>彩峰 四 的場咲映</p> <p>女のむし るすかてんがを うごまけり</p>	<p>梅堂 七 後藤杏花</p> <p>わがをんをよむあそびさあ うごまけりむしのひたつとも うごまけりさ</p>
<p>三志 初 小栗山美晴</p> <p>女のむし るすかてんがを うごまけり</p>	<p>二 中島悦祐</p> <p>女のむし るすかてんがを うごまけり</p>	<p>元四 河田真優</p> <p>女のむし るすかてんがを うごまけり</p>	<p>セブ 六 岩崎松葉</p> <p>わがをんをよむあそびさあ うごまけりむしのひたつとも うごまけりさ</p>
<p>崇 初 市場千尋</p> <p>女のむし るすかてんがを うごまけり</p>	<p>栢書 二 瀬戸小夏</p> <p>女のむし るすかてんがを うごまけり</p>	<p>詠智 寺山七海</p> <p>女のむし るすかてんがを うごまけり</p>	<p>広田 松岡宥李</p> <p>わがをんをよむあそびさあ うごまけりむしのひたつとも うごまけりさ</p>

文教
北川 梨華
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

清苑
田仲 優菜
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

明代
高橋 美里
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

FF
澤田 満梨果
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

佐野
石川 凛
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

清和
中島 一志
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

NY
嶋田 千紗々
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

大井
久保 白莉央
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

森山 紗菜
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

曾水
小杉 樹里
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

清水
加藤 優由
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

うみ
角本 莉菜
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

郁野
相澤 りょう
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

やま
赤澤 知蒼
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

栄友
上野 未織
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

桶川
山崎 咲音
ね ね ね
か か か
こ こ こ
し し し
ま ま ま
万 万 万

今月の優秀作品

月籠沙
せな 志

F F
遠藤 せな

月籠沙
衣織 志

福岡
加藤 衣織

月籠沙
彩乃 志

沙扇
宇田 彩乃

月籠沙
芽生 志

英花
菅沼 芽生

素心愛雲水
紗希 志

栗丘
市川 紗希

素心愛雲水
理緒 志

人二
鈴木 理緒

素心愛雲水
知三 志

白鳥
飯島 知三

素心愛雲水
雄太郎 志

和同
奥川雄太郎

素心愛雲水
未歩 志

小峯
河野 未歩

素心愛雲水
依里 志

日吉
西川 依里

秋とくわみちのく過い
勢よま河と

百花 奥田 陽羽

秋とくわみちのく過い
勢よま河と

愛花

和同 山本 愛花

よろこへは

くきあり
落つる木の实

有彩 関口 桃乃

よろこへは

くきあり
木の实

祥瑞 播磨 青依

秋とくわみちのく過い
勢よま河と

セブ 岩崎 松葉

よろこへは

くきあり
木の实

三志 阿部 弘子

よろこへは

くきあり
木の实

恵風 武市 優和

よろこへは

くきあり
木の实

清月 田中 麗

よろこへは

くきあり
木の实

南丘 甲田 咲月

努力が

奇跡を生む

厚木 勝崎ほのか

努力が

奇跡を生む

栗丘 小淵由佳理

努力が

奇跡を生む

和同 福谷 咲衣

努力が

奇跡を生む

湘花 阿部里衣紗

努力が

奇跡を生む

松原 金子みやび

努力が

奇跡を生む

有彩 関口 桃乃

努力が

奇跡を生む

大楠 竹澤 由菜

努力が

奇跡を生む

仙水 幸村 彩葉

日記
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ
 橋菜子 4

光書
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ
 平野美桜の風

法水
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ
 塩田心春

DP
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ
 中條琉偉 5

香桜
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ
 原田 美寛

香茶
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ
 山田 紗幸

五香
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ
 小太刀 佳世

鈴木彩心
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ

りり
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ
 村田結菜

三善ゆりか
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ

望望
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ
 藤田 航

明代高棟美里
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ

大輝
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ
 有馬賢太

コム
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ
 原田 蒼イ

青二 水野 洸
 港のあきらかや
 雨後の
 梨食うぶ

桑文
 森下みのり
 努力が
 奇跡を生む
 けりた

御殿
 小島 優真
 努力が
 奇跡を生む
 慶真

神戸 春 海翔
 努力が
 奇跡を生む
 海翔

杏 村山 歩夢
 努力が
 奇跡を生む
 歩夢

紅彩
 渡邊 夏生
 努力が
 奇跡を生む
 夏生のく

詠雪
 長谷川乃映
 努力が
 奇跡を生む
 乃映

福岡 本田 結菜
 努力が
 奇跡を生む
 結菜

せと 渡邊 沙南
 努力が
 奇跡を生む
 沙南

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 タ 八 段 氏名 堀越 桜衣

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 書翫 八 段 氏名 佐藤 瑛月

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 頸城 八 段 氏名 小山 実利愛

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 清月 七 段 氏名 田中 麗

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 基通 七 段 氏名 泉 和緒子

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 恵姦 六 段 氏名 鈴木 愛良

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 幸田 七 段 氏名 加藤 仁奈

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 大道 八 段 氏名 山下 道香

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 六花 八 段 氏名 倉井 美緒

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 墨友 七 段 氏名 里結 衣彩

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 海里 七 段 氏名 片岡 穂乃香

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 書倫 七 段 氏名 木村 有希

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 栄友 六 段 氏名 金井 徹平

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 あず 六 段 氏名 田中 碧乃

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 兼止 七 段 氏名 森山 紗菜

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 詠雪 八 段 氏名 大野 友友

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 そり 七 段 氏名 永山 叶子

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 春友 七 段 氏名 橘高 なみ

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 モラ 六 段 氏名 中原 理央

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 千南 六 段 氏名 岡崎 愛

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 大藤 六 段 氏名 丸 琴音

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 和 八 段 氏名 吉川 萌波

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 長大 八 段 氏名 伴野 真優

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 佳朋 七 段 氏名 坂本 楷之介

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 赤間 七 段 氏名 瀬戸口 乃々香

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 厚本 六 段 氏名 宮田 奏花

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 唯鳴 六 段 氏名 本田 実和

月は少し東にあって、だいたいい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 上毛 五 段 氏名 田中 悠愛

今月の優秀作品

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 五 宇佐美晃大

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 五 羽鳥叶恵

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 五 岡崎優維

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 五 江口真穂

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 五 一藤木優太

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 五 谷口綺葉

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 一 加藤心琉

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 五 左座美羽

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 四 鈴木也よい

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 四 石井佑奈

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 四 深沢勇輝

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 四 川口紗英

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 四 山中日櫻里

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 四 澤田満梨果

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 四 里見彩乃

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 四 岩淵未来

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 四 船戸優里奈

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 三 田嶋ゆず

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 三 会津優

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 三 早坂美桜

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 三 吉田楓葉

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 三 田中遙乃

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 三 居軒綾音

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 三 田中琉唯

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 三 應本雄太

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 三 前川優大

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 四 柳果夢

月は少し東にあって、だいたいの円
 かつた。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼつとぼかしていた。
 二 深田紗帆

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 ワフ 二 松永 結希

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 樂望 二 市川 愛唯

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 文教 初 氏名 東田 緒花

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 ゆき 初 氏名 岩崎 幸奈

普通では考えつかないような
 奇抜な発想。奇想天外。
 あけ 井手平美羽 /

普通では考えつかないような
 奇抜な発想。奇想天外。
 有馬 森本千尋 2

普通では考えつかないような
 奇抜な発想。奇想天外。
 岡山 平元由美子 4

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 武並 二 木股 真成

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 万里 杉本 莉音

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 黒水 初 北澤 美月

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 向原 初 陳 佳怡

普通では考えつかないような
 奇抜な発想。奇想天外。
 三七志 小栗山 美晴 /

普通では考えつかないような
 奇抜な発想。奇想天外。
 梁井 川 嶋野 乃果 4

普通では考えつかないような
 奇抜な発想。奇想天外。
 船堀 市川 麻侑 5

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 曾水 二 横関みやび

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 やの 二 松雪 叶

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 まお 初 阿出川 真央

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 不中 初 江上 環那

普通では考えつかないような
 奇抜な発想。奇想天外。
 伏見 氏名 長棟 心優 /

普通では考えつかないような
 奇抜な発想。奇想天外。
 清苑 田仲 優菜 3

普通では考えつかないような
 奇抜な発想。奇想天外。
 三木 酒井 美華 6

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 小峯 二 田代 瑛志

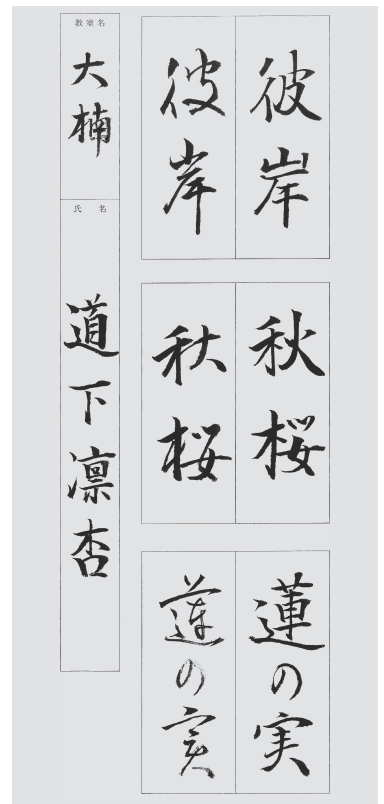
月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 松平 初 天野 結菜

月は少し東にあって、だいたい円
 かった。尖の雲のなかにあって、縁
 の雲をぼくつとぼかしていた。
 佐念 初 戸村 琴音

普通では考えつかないような
 奇抜な発想。奇想天外。
 明代 氏名 高橋 美里 /

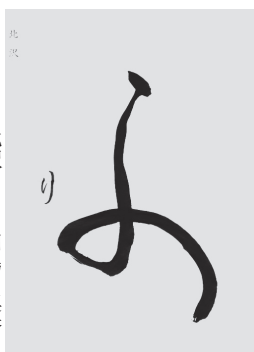
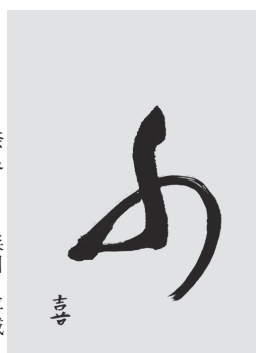
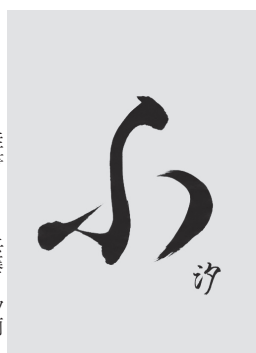
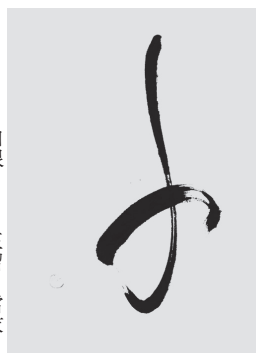
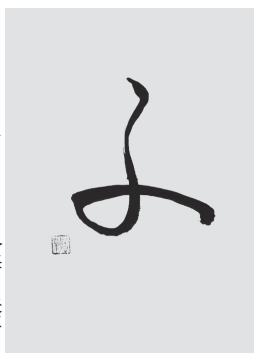
普通では考えつかないような
 奇抜な発想。奇想天外。
 清神 氏名 高橋 諒奈 3

普通では考えつかないような
 奇抜な発想。奇想天外。
 福元 奈月 7



<漢字一字書>

<平がな一字書>



今月の優秀作品